



太田胃散とアジレント：

最高の成果を目指すための パートナーシップ

今日の世界では、新しい医薬品が日々市場に登場し、その効能に関するさまざまな情報もあふれています。これらの新しい医薬品が市場で生き残るか、それともすぐに消えてしまうかを左右するのは、多くの場合、消費者です。企業がこの競争の激しい市場で生き残るには、消費者の信頼を得る必要があります。

株式会社太田胃散は東京に本社を置く、生薬成分を主体とする一般用医薬品のメーカーです。1879年創業という同社の長い歴史は、消費者が同社の製品に信頼を置き続けていることを物語っています。その信頼を維持している主な要因は、新製品と長く愛されている製品が、いずれも最高の品質基準を満たしていることです。このインタビューでは、分析上の課題に対応して製品品質の向上を目指す太田胃散の取り組みについて紹介します。

視点の価値

現代の分析ラボでは、製品品質評価用の高度なツールがかつてないほど充実しています。濱崎保則氏は、太田胃散の製品の製剤分析を実施するラボの管理者です。その業務では、太田胃散の製品に使用される生薬原材料を分析するために、HPLC分析法を頻繁に使用しています。

濱崎氏は次のように述べています。「当社のラボでは、植物薬に含まれる特定の化合物の分離と分析を実施しています。私たちは、新製品と既存製品の基礎データを蓄積しています。これは、学会での発表につながる場合もある基礎研究活動です。太田胃散の主要市場は日本国内ですが、研究においては、日本的アプローチだけでなく、分析技術が国際的にどのように使用されているかを考慮することが重要です。」



濱崎保則氏

機能探索課課長
株式会社太田胃散
日本

濱崎氏はこのように最高の技術を広く求めていたため、アジレント・テクノロジーをパートナーに選びました。同氏は次のように述べています。「アジレントは世界的企業として、日本のメーカーとは異なる独自の視点をもたらしてくれます。蛍光検出とフラクション回収の機能を備えたアジレントの機器により、分析対象化合物の構造解析前の予備手順で化合物を簡単にスクリーニングできます。アジレントの機器は、迅速な調整や詳細なパラメータ設定ができるインターフェースを備えているため、他社の機器よりも新規プロジェクトの開始や新しい分析テーマの探求に適しています。新しい **InfinityLab LC シリーズ III** は前面タッチモニターと **InfinityLab Assist** を搭載しており、最初から非常に使いやすいと感じました。PC と接続せずに平衡化やクリーニングができ、使いやすさや外観のデザイン性も優れています。」

新たな課題に対応できる最新ソリューション

太田胃散も他の研究施設と同様に、人手不足という慢性的な課題に悩まされています。濱崎氏はこの点でも、アジレントとのパートナーシップに明確なメリットがあると語ります。「**LC** などのラボ機器の操作に必要な技術的専門知識を持つ人材の採用は、ますます難しくなっています。アジレントの機器では、ユーザーが多くのメンテナンス作業を自分で実行できます。製品シリーズが生産中止になった後も下位互換性が維持されます。また部品はわかりやすく色分けされており、**PC** や構成のオプションは柔軟で拡張性が優れています。このような特長により、アジレントは国内ベンダーとは一線を画しています。**OpenLab CDS** システムは **HPLC** メソッドの詳細設定に最適で、この点も他社製のシステムより優れています。また、アジレントの機器はめったに故障しないので、認定サービスエンジニアの訪問を依頼する必要はほとんどありません。重大な問題はめったに発生せず、アジレントの担当者に簡単に相談できます。ほとんどの問題は社内やビデオサポートで解決できます。」

専門知識とともに構築

濱崎氏はアジレントの技術そのものだけでなく、地域で利用できるトレーニングリソースの品質と効果についても高く評価しています。

同氏は次のように述べています。「アジレントの **LC** 機器は、主に別の同僚が操作していました。しかし、その同僚が退職したときに、私は自分でシステムを使い始めてみようと考え、東京にあるアジレント・テクノロジー株式会社の芝浦ラボで **2025 年 4 月**に開催された **HPLC ワークショップ**に参加しました。芝浦ラボは素晴らしいものでした。開放的、快適な広々としたレイアウトで、テレビが中央に配置されており、明るくリラックスできる雰囲気でした。機器を操作しながら講義を受けることができ、講師も素晴らしかったです。彼らは快適な学習環境を作り上げ、詳しい質問に徹底的に回答し、各質問の背後にある意図を明確に理解していました。講義自体もわかりやすく、内容も復習しやすい適度な量でした。」

濱崎氏にとってこの経験は、高レベルな **HPLC** 分析に立ち返るために必要なものでした。

同氏は次のように説明します。「このようなのを絞ったセミナーは、他社のサービスではなかなか体験できないものです。アジレントのセミナーは、手軽で効率的な学習機会のニーズに応えてくれます。これはチームメンバーにも勧めやすいプログラムです。半日形式なので、初心者が気軽に始めるのに最適です。**2 ～ 3 日間**の集中コースでは負担を感じてしまい、内容を理解するのが困難になる可能性があります。実習セッションは特に効果的でした。私の目標は機器操作の実践的知識を学びなおすことでした。実際に体験したところ、基礎を復習し、アジレントのスタッフに質問することで自分の理解内容を明確化して整理できました。**LC** の知識を持つ新入社員にとっても、このセミナーは有効です。大学のトレーニングで身に付いた習慣や先入観を正すことができるためです。このようなメーカー主催のセミナーは、適切な技術の習得に最適な機会です。」

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE-015589

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2026

Printed in Japan, March June 17, 2026

5994-9006JAJP